

インフォシス、InfosysTopaz™の一環として「インフォシス・エージェンティック・AI・ファウンドリー」をリリースし、エンタープライズ AI の変革を加速

エンタープライズ AI エージェントのスケール展開を目的としたファウンドリーは、
信頼性と責任あるイノベーションを通じてビジネス変革を実現します

インド・バンガロール – 2025 年 5 月 28 日

[Infosys](#) (NSE、BSE、NYSE : INFY) は、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーとして、本日、業務レベルで安定運用可能な高性能な AI エージェントの開発と展開を加速する包括的なソリューション「Infosys Agentic AI Foundry」のリリースを発表しました。Agentic AI Foundry は、Infosys Topaz™の一部として提供され、企業に対し、AI エージェントを責任ある倫理的な方法で採用するための戦略的なロードマップを提供します。同時に、AI 技術の進化に対応可能な未来志向のアーキテクチャを確保します。これにより、ビジネス、オペレーション、IT エコシステム全体で AI エージェントをシームレスに統合し、より迅速な意思決定、顧客体験の向上、オペレーション効率の向上を実現します。

Infosys Agentic AI Foundry は、企業が AI 駆動型イニシアチブを効果的に発見・開発・導入できるよう支援するツールです。再利用可能なコンポーネントや水平・垂直型の事前構築済みエージェントのリポジトリを統合し、AI ソリューションの迅速な実装を可能にします。これにより、企業は自社内やサードパーティのプラットフォームに AI エージェントを統合し、業務の最適化や効率化を図ることができます。また、オープンアーキテクチャを採用しているため、技術ロックインを避けつつ、自社のニーズに合わせたカスタマイズが可能であり、分野の進化に適応した持続可能な AI 戦略を構築できます。さらに、相互運用性とコスト効率の高さにより、企業は AI 技術を責任を持って拡大し、新たな可能性を創出することができます。

Infosys Agentic AI Foundry は、業界を問わず企業を変革し、ビジネスクリティカルな意思決定を支援し、生産性を指数関数的に向上させることを目指します。テクノロジー大手企業では、Infosys が継続的な学習を行うディープラーニングエージェントを展開し、数秒で包括的な製品洞察を提供します。サポート解決時間を最大 50%削減し、CSAT を 24%向上させました。同様に、大手サービス企業では AI エージェントが取引サンプリング、文書収集・レビューを含む複雑な監査プロセスを自動化し、財務記録の整合性を強化しました。

インフォシスは、エージェント型 AI を自社オペレーションに統合することで、効率性、イノベーション、コスト効果を推進する AI ファーストのアプローチを体現しています。例えば、財務チームにマルチエージェント型請求書自動

化ソリューションを導入することで、生産性を 50%以上向上させ、大幅なコスト削減とオペレーション効率化を実現しました。

HFS リサーチ最高経営責任者兼チーフアナリストであるフィル・フェルシュト氏は次のように述べています。「AI 技術の進化により、人間と AI の境界が曖昧になり、IT やビジネスサービスに大きな影響を与えています。インフォシスのエージェント型 AI アプローチは、企業がこの変化に対応し、AI の機能を従業員や顧客体験に組み込むための重要なステップとなります。」

インフォシスのエグゼクティブ・バイス・プレジデント グローバルサービス部門責任者 AI・産業別事業統括責任者であるバラクリシュナ・D・R (バリ) は次のように述べています「インフォシスは、AI の力を責任を持って活用することこそがイノベーションの未来を切り拓くと信じています。Infosys Agentic AI Foundry は、企業の変革を加速させる革新的なプラットフォームであり、AI の潜在能力を最大限に引き出すための明確かつ倫理的な未来志向の指針を提供します。AI エージェントをエコシステム全体にシームレスに統合することで、企業はより迅速にイノベーションを推進し、業務のスマート化を実現するとともに、変化するデジタル世界において確固たるビジョンを持ってリードできるようになります。」

Infosys について

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。30 万人を超える従業員が、人、企業、コミュニティの潜在能力を最大限に引き出し、次なる機会を創造するために取り組んでいます。56 カ国以上のクライアントがデジタル変革を推進する中で、私たちは支援しています。40 年以上のグローバル企業システムの管理経験に基づき、クラウドと AI を活用したデジタル変革を導く専門知識を提供しています。私たちは、AI を中核とした基盤を提供し、アジャイルなデジタル変革を大規模に展開することでビジネスを強化し、イノベーションエコシステムからデジタルスキル、専門知識、アイデアを共有することで、継続的な改善を推進します。私たちは、多様な人材が活躍できる包摂的な職場環境において、適切に統治され、環境持続可能な組織として、深くコミットしています。

詳細については、www.infosys.com をご覧ください。Infosys (NSE、BSE、NYSE : INFY) が、貴社の次なるステップを支援する方法をご確認ください。

セーフハーバー

本リリースに含まれる当社の将来の成長見通し、または将来の財務または営業成績に関する一部の記述は、1995 年民間証券訴訟改革法に基づく「セーフハーバー」条項に該当する将来予測に関する記述であり、実際の結果または成果がこれらの将来予測と著しく異なる可能性のあるリスクおよび不確実性を伴います。これらの声明に関連するリスクと不確実性には、以下のものが含まれますが、これらに限定されません：当社の事業戦略の執行に関するリスク、人材獲得競争の激化、人材の採用・定着能力、賃金上昇、従業員の再スキル化のための投資、ハイブリッド型勤務モデルの有効な実施能力、経済的不確実性および地政学的状況、ジェネレーティブ AI を含む技術的混乱と革新、複雑かつ変化する規制環境（移民規制の変更を含む）、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分



方針、市場ポジション、今後の事業運営、利益率、収益性、流動性、資本資源、当社の企業行動（買収を含む）およびサイバーセキュリティに関する事項が含まれます。将来の見通しに関する記述と実際の結果または成果が異なる要因については、2024年3月31日終了の事業年度に関する当社の米国証券取引委員会（SEC）提出書類（Form 20-F 年次報告書を含む）において詳細に説明されています。これらの提出書類は、www.sec.gov で閲覧可能です。インフォシス（Infosys）は、適宜、追加の書面または口頭による将来見通しに関する表明を行う場合があります。これには、当社が証券取引委員会に提出した書類および株主への報告書に含まれる表明も含まれます。当社は、法律で義務付けられる場合を除き、当社または当社の代理人によって適宜行われる将来見通しに関する表明を更新する義務を負いません。

お問合せ先

インフォシスリミテッド 東京オフィス

担当 安藤 jo_ando@infosys.com